

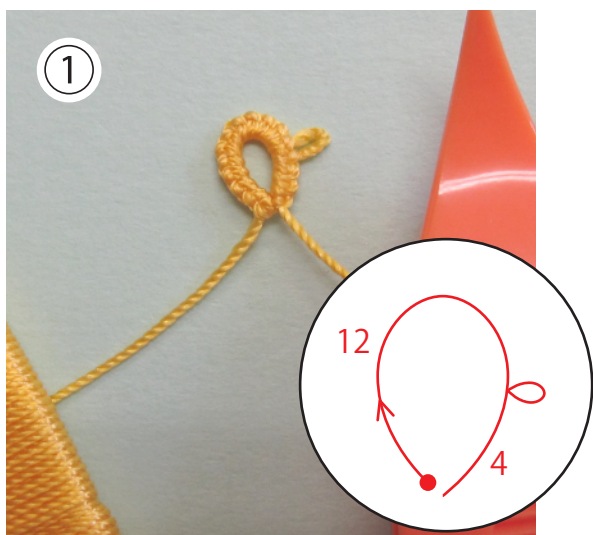
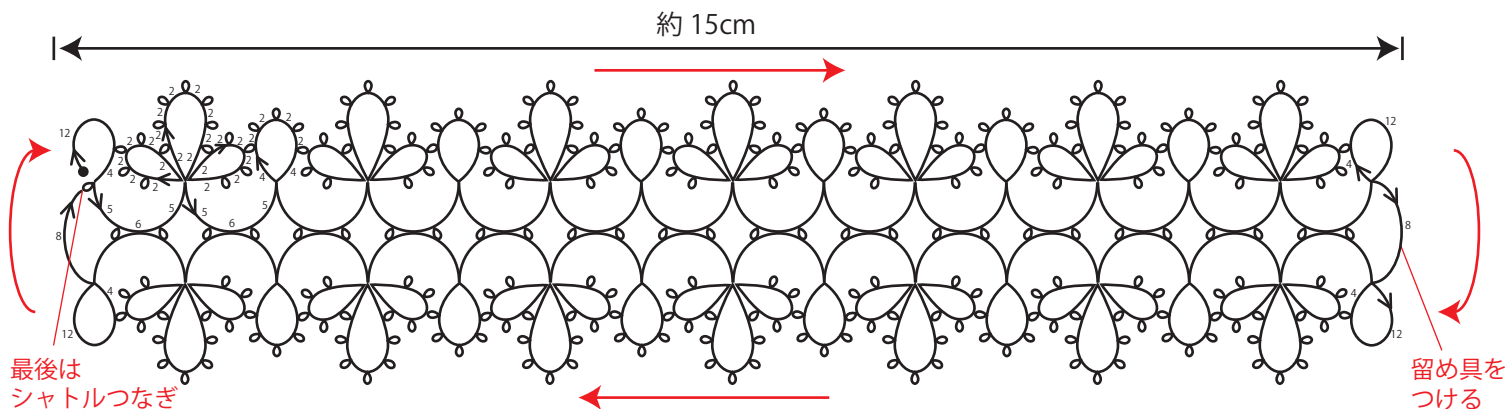
シャトル一つで編める裏ワザつき！

リバースワークで作るタティングブレスレットの編み方

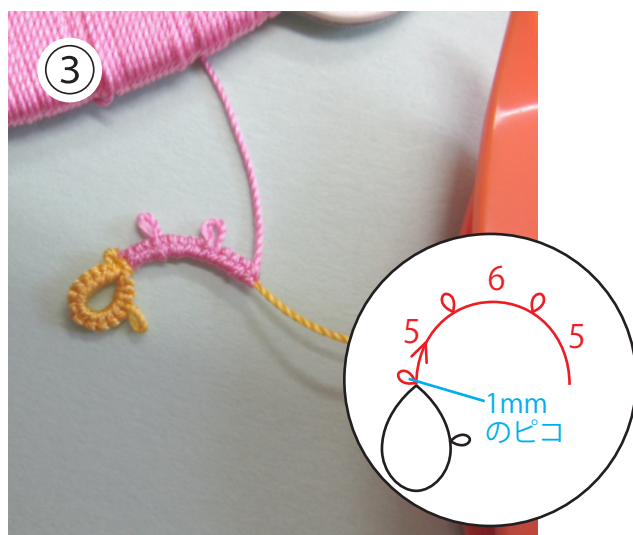
デザイン：工房ハーモニー

材料

- ・絹穴糸 1枚 (STA2340の場合 2本)
- ・ナスカン等留め具 1個



- ① シャトルに 10m の絹穴糸を巻き、糸は切らずに、「表目と裏目」を一つの目として、右図のリングを編みます。(ピコの大きさは指定がない限り 2mm)



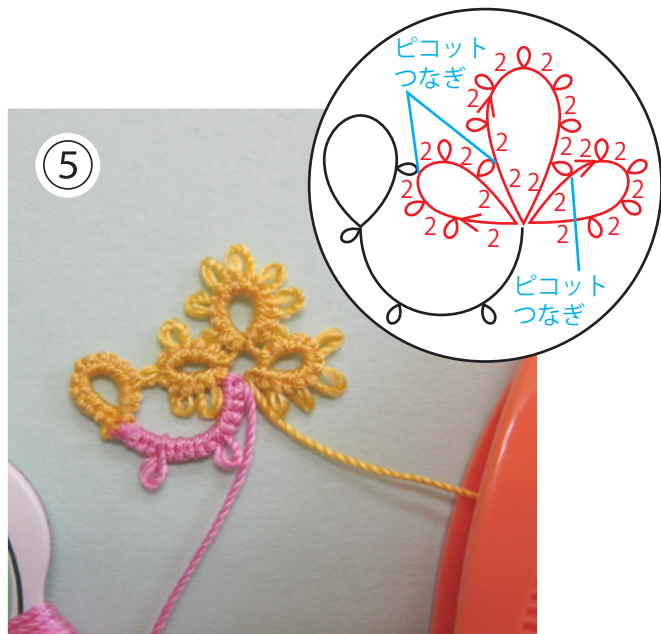
- ③ 右図のチェーンを編みます。(ここからは、わかりやすいようにカード巻の糸の色を変えています)



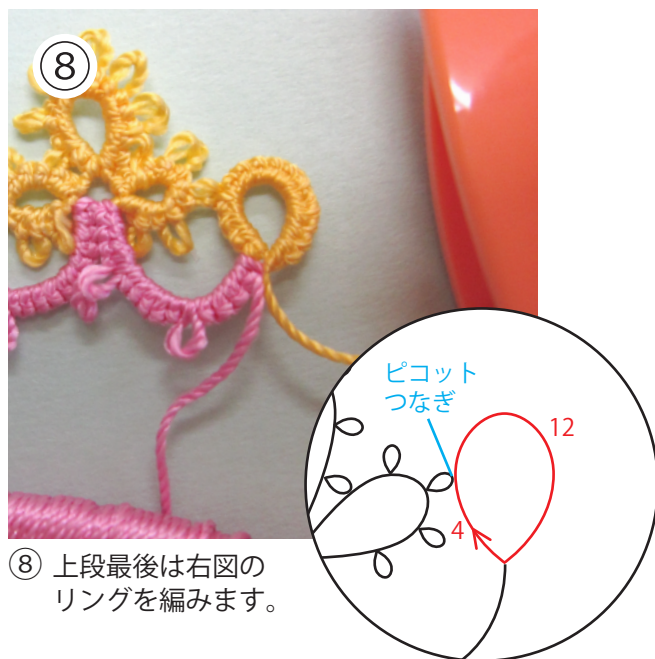
- ② ①のモチーフをシャトルとカード巻と一緒にひっくり返します。これをリバースワークといいます。①のリングの裏側が見えています。



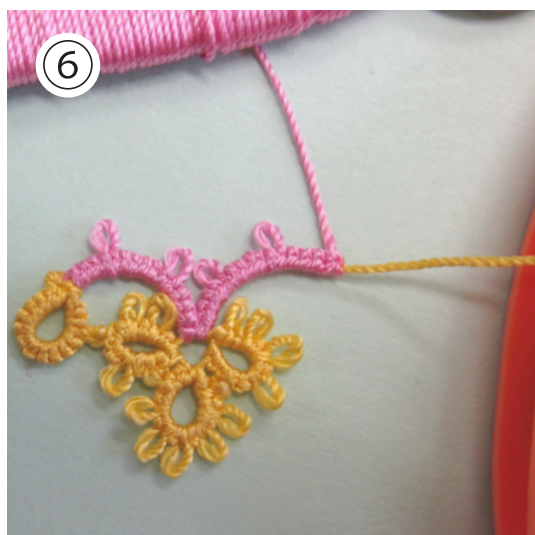
- ④ リバースワークをします。③と比べると、カード巻とシャトルの位置が換わり、①のリングの表側が見えています。



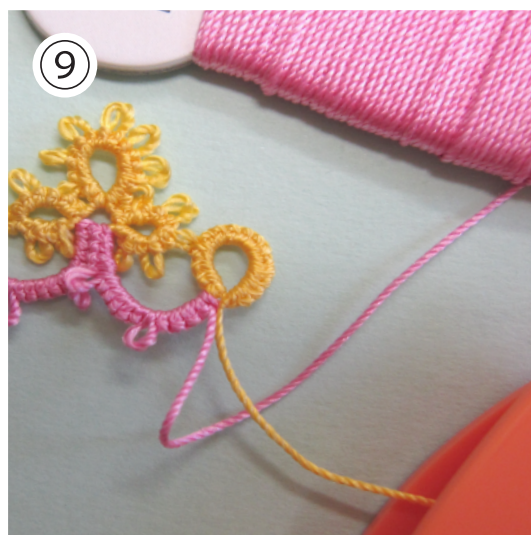
⑤ シャトルの糸で  
右図のリングを編みます。



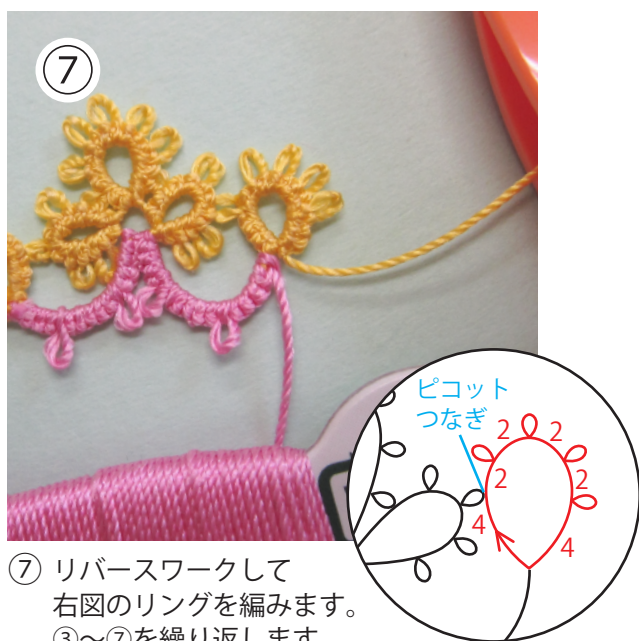
⑧ 上段最後は右図の  
リングを編みます。



⑥ リバースワークをして、チェーンを編みます。



⑨ カード巻の位置を変えます。

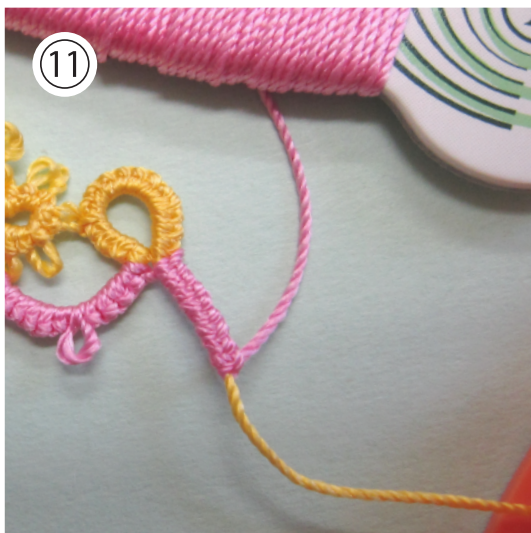


⑦ リバースワークして  
右図のリングを編みます。  
③～⑦を繰り返します。



⑩ 裏目（半目）を編みます。  
カード巻とシャトルの位置が  
変わります。

この工程が  
シャトル一つで  
編める  
裏ワザです!!



⑪ チェインを8目編みます。



⑭ 下段も上段と同様に編んでいきます。最後は、③で作った小さなピコにシャトルつなぎして完成です。



⑫ モチーフを手前に返します。糸が交差しています。



⑬ ⑩と同様に、裏目（半目）を編みます。カード巻とシャトルの位置が変わります。

この工程がシャトル一つで編める裏ワザです!!

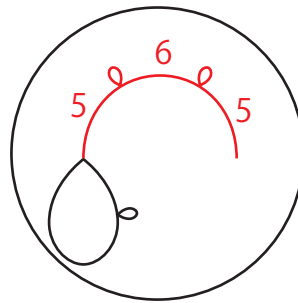
\* STA Art2340 を2本使用して作る場合は1本をシャトルに全て巻きます。

①の工程はシャトルの糸だけで、リングを作ります。

②の工程は同様にリバースワークします。

③の工程でチェーンを作るときに、シャトルの糸と STA Art2340 の糸でロックステッチを1目作ってからチェーンを編みます。

(③にある一つ目のピコットは作りません)



④以降の工程は同じです。最後は糸端を4本結んで始末します。